

第17回日本国際漫画賞 「ラウタロ」銅賞授与式

令和6年（2024年）9月16日

第17回日本国際漫画賞において、チリ人アーティスト3人による共作である「ラウタロ」が銅賞を受賞し、9月6日、日本国大使公邸において授与式典を行いました。



（左から）ラゴス上院議員、ムニョス氏、伊藤大使、アレドンド大臣、イノストロサ氏、ベナビデス氏、コテ・カルバハル氏

式典には、受賞者であるフランシスコ・イノストロサ氏、フェリペ・ベナビデス氏、クラウディオ・ムニョス氏の3名と同親族のほか、カロリナ・アレドンド文化・芸術・遺産大臣、リカルド・ラゴス・ウェーバー上院議員、アバルカ国立図書館長、文化・芸術・遺産省関係者、「ラウタロ」の出版社SM社、報道関係者など、多数が出席しました。



伊藤大使あいさつ



表彰状の読み上げ

第17回日本国際漫画賞には世界82の国・地域から合計587作品の応募があり、チリの英雄「ラウタロ」を題材にした同作品の銅賞入賞は、第15回で銅賞に入賞したジタン（Yitán）氏の「Blood Ties」に次ぐ快挙です。

伊藤大使は、3名の受賞者に祝意を伝え、今回の「ラウタロ」の受賞は、日本とチリの友好関係が文化レベルでも活発であり、チリがマンガを読んで楽しむだけでなく、マンガという文化、そして芸術を生むことのできるマンガ成熟国のレベルに達していることの証左であると称えました。

また、アレドンド文化・芸術・遺産大臣からは、受賞の3名はチリと日本の新しい架け橋であり、漫画を通じてチリから世界へ向けてその才能を発信することで3名自身がチリの文化大使になったと祝意が表明されました。



表彰状を受け取った受賞者3名



アレドンド文化・芸術・遺産大臣



文化・芸術・遺産大臣による乾杯あいさつ



受賞者代表イノストロサ氏のあいさつ

漫画や文化を通じ日チリの友好関係が更に発展していくよう、当館も引き続き取り組んでまいります。



伊藤大使とアレドンド文化・芸術・遺産大臣

(了)